

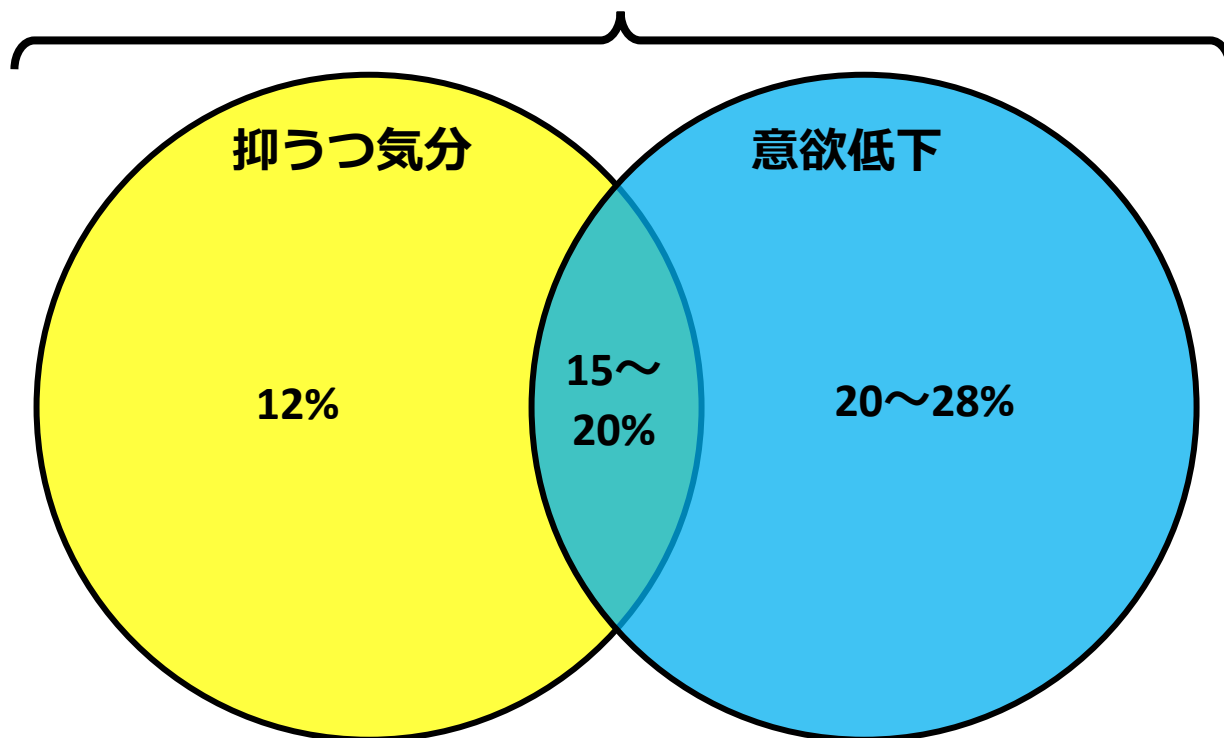
①脳卒中後うつ

うつ病は「ゆううつ」がひどくなって環境に適応できなくなる病気で、日常生活が送れなくなる人もいます。ストレス体験がきっかけになって発症するのでストレスに対する反応性に関わる病気と言えます。

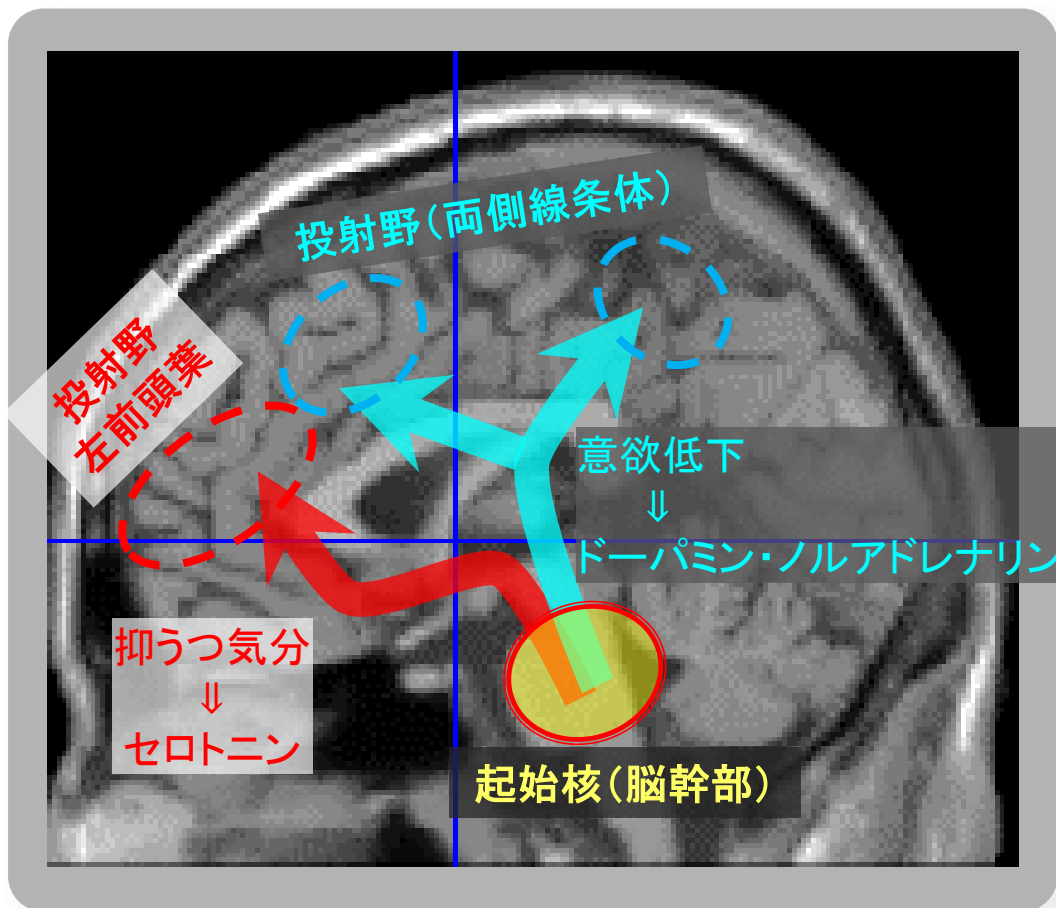
脳卒中の後、うつ病を発症する人が多いことは1980年代から報告され、盛んに研究されています。しかし、未だに詳しい機序は分かっていません。

脳卒中後うつ病は『抑うつ気分』と『意欲低下』という二つの症状に分けられます。

検査を行った人の52～55%は脳卒中後うつの症状を有する



我々は広島大学精神神経科と共同研究を行って、脳卒中後うつ病の二大症状は異なる神経回路の障害が関与し、リハビリテーションの効果を妨げることを示してきました。また、脳卒中後の損傷部位によって、セロトニン、カテコラミン（ドーパミン・ノルアドレナリン）の調節が乱れることも明らかになって、脳卒中後うつ病の原因の一つと考えられました。脳卒中後うつ病の詳しい機序が分かれば、脳卒中患者さんのリハビリテーションの効果を高めることが期待できます。



Murakami T, Hama S et al. Am J Geriatr Psychiatry. 2013

Hama S et al. Int J Geriatr Psychiatry. 2017

①脳卒中後うつに関する発表論文

1. Hama S, Yamashita H, Yamawaki S, Kurisu K. Post-stroke depression and apathy: Interactions between functional recovery, lesion location, and emotional response. *Psychogeriatrics*. 2011 Mar;11(1):68-76. doi: 10.1111/j.1479-8301.2011.00358.x.
2. Murakami T, Hama S, Yamashita H, Onoda K, Kobayashi M, Kanazawa J, Yamawaki S, Kurisu K. Neuroanatomic pathways associated with poststroke affective and apathetic depression. *Am J Geriatr Psychiatry*. 2013 Sep;21(9):840-7. doi: 10.1016/j.jagp.2013.01.057. Epub 2013 Feb 6.
3. Hama S, Murakami T, Yamashita H, Onoda K, Yamawaki S, Kurisu K. Neuroanatomic pathways associated with monoaminergic dysregulation after stroke. *Int J Geriatr Psychiatry*. 2017 Jun;32(6):633-642. doi: 10.1002/gps.4503. Epub 2016 Jun 1.